

≫≫ 新着資料案内 新しく受入れた資料をご案内いたします

■ 映画資料 ■

○ …… 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『リトル・フォレスト 冬・春』	○	○	○		○
『機動戦士ガンダム THE ORIGIN I 青い瞳のキャスバル』	○		○		
『ソロモンの偽証 前篇・事件』	○	○	○		○

■ 映画プログラム ■

『娚の一生』 『フォックスキャッチャー』 『しあわせのパン』  
 『アナベル 死霊館の人形』 『プリデスティネーション』 『アメリカン・スナイパー』  
 『くちびるに歌を』

■ 松竹系 2月 演劇公演資料 ■

○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『吉例寿曾我』	○			
	『彦山権現誓助剣 毛谷村』	○			
	『積恋雪関扉』	○			
	『一谷嫩軍記 陣門・組打』	○		○	○
	『神田祭』	○			
	『水天宮利生深川 筆屋幸兵衛』	○			
	第二十回日本俳優協会賞表彰式			○	
新橋演舞場	『ブラッドブラザーズ』		○	○	○
松竹座 (大阪)	『嫗山姥』	○			
	『銘作左小刀 京人形』	○			
	『四代目中村鴈治郎襲名披露口上』				
	『傾城反魂香』	○		○	○
	『曾根崎心中』	○			
	『連獅子』	○			
南座 (京都)	『義経千本桜 川連法眼館の場』	○			
	『五木ひろしコンサート2015 in南座』				○
	『還暦記念桂塩鯛独演会』			○	○
EXシアター六本木	『水森かおり20周年記念コンサート 歌謡紀行2015 in南座』				○
	『地球投五郎宇宙荒事』	○		○	
木挽町ホール	『こども歌舞伎スクール寺子屋終了発表会』			○	
博多座	『慙紅葉汗顔見勢 伊達の十役』	○		○	○
大塚国際美術館	『ユリシーズ 百合若丸弓軍功』	○		○	○

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

(新着資料案内 続き)

## ■ 他社演劇公演資料 ■

赤坂ACTシアター	1月	『舞台 真田十勇士』プログラム
赤坂RED/THEATER	2月	トム・プロジェクト『スイートホーム』プログラム
アトリエ春風舎	2月	青年団リンク ホエイ『雲の脂』プログラム
大阪新歌舞伎座	1月	『中村美律子&神野美伽』プログラム
紀伊國屋サザンシアター	1月	ネルケプランニング『CHaCK-UPねらわれた惑星』プログラム
	2月	劇団民藝『ヒトジチ』プログラム、台本
国立劇場大劇場	1月	『南総里見八犬伝』プログラム、台本
国立劇場小劇場	1月	『長唄の会・三曲の会』プログラム 『土佐の神楽』プログラム
国立文楽劇場	1月	『文楽公演』プログラム、床本 『第26期文楽研修修了生発表会』プログラム
	2月	前進座『如月の華』プログラム、台本
ザ・スズナリ	1月	流山児★事務所『チャンバラ』プログラム、台本 敦 - 杏子 PRODUCE『URASUJI 2015 綱渡り』プログラム
	2月	風琴工房『PENALTY KILLING』プログラム
シアタークリエ	2月	SHOW-i sm『ユイット』プログラム
シアターコクーン	1月	シアターコクーン・オンレパートリー『プルートゥ』プログラム
シアター1010	1月	劇団青年座『をんな善哉』プログラム、台本
渋谷ギャラリーLEDECO	1月	とくお組『光沢のある赤いスイッチ』プログラム
SPACE雑遊	2月	鶴的『丘の上、ただひとつの家』プログラム
すみだパークスタジオ倉	2月	扉座サテライト公演『Love Love Love 18』プログラム
世田谷パブリックシアター	2月	『ラパン!ラパン!』プログラム
地方巡業	1月	前進座『操り三番叟・芝浜の革財布』プログラム、台本
東京芸術劇場シアターイースト	1月	劇団山の手事情社『テンペスト』プログラム、台本 モダンスイマーズ『悲しみよ、消えないでくれ』プログラム
	2月	劇団道学先生『あつ苦しい兄弟』プログラム 日本の演劇人を育てるプロジェクト『The River』プログラム
東京芸術劇場プレイハウス	2月	野田地図『エッグ』プログラム
日暮里d-倉庫	1月	東京シェイクスピア・カンパニー『フォルスタッフ』プログラム
俳優座劇場	2月	青年劇場『青ひげ先生の聴診器』プログラム、台本
博多座	1月	『北島三郎最終公演』プログラム
パルコ劇場	2月	PARCO PRODUCE『いやおうなしに』プログラム
明治座	1月	『春日局』プログラム
	2月	『コロッケ芸能生活35周年記念公演』プログラム

## ■ 演劇雑誌 ■

『あぜくら』平成27年2月号	『伝統文化新聞』2015年(105号)
『演劇界』2015年4月号	『DRAMAかながわ』2015年(別冊4号)
『大向う』平成27年3月号	『文学座通信』Vol. 648-Vol. 667
『Confetti』2015年 MARCH, APRIL	『日本照明家協会誌』2015年2月号
『神奈川芸術プレス』2015年2月-3月 Vol. 122	『日本舞踊』67巻3月号
『上方芸能』2015年3月(195号)	『日本芸術文化振興会ニュース』平成27年3月号
『喝采』2015年6月	『悲劇喜劇』2015年3月号
『国立演芸場公演ガイド』平成27年3月号	『邦楽の友』平成27年3月号
『シアターガイド』2015年4月号	『青年座』No. 413, No. 415, 2012 新春, 2012 秋号, No. 431, 2014 夏号, No. 432, No. 434, 2014 秋号, 2015 新春号
『JPL』2015年 Winter No. 56	『ラ・アルプ』2015年3月号
『ストアハウスコレクション』No. 1	
『テアトロ』2015年3月号	

(新着資料案内 続き)

## ■ 映画雑誌 ■

- |                                 |   |
|---------------------------------|---|
| 『映画テレビ技術』2015年3月号               | 『TVガイド』2013年9/13号,9/20号,9/27号,10/4号,10/11号,10/18号,10/25号,11/1号,11/8号,11/15号,11/22号,11/29号 |
| 『映画時報』2015年1月号,2月号              | 『特ラ連レポート』平成27年3月143号  |
| 『映画秘宝』2015年4月号                  | 『ドラマ』2015年3月号   |
| 『映画芸術』2015年冬号                   | 『ピクトアップ』2015年4月号  |
| 『衛星劇場プログラムガイド』2015年3月号          | 『FLIX』2015年4月号  |
| 『エキブ・ド・シネマ』2015年No.204          | 『文化通信ジャーナル』2015年3月号   |
| 『NFCカレンダー』2015年3月号              | 『日本アカデミー賞協会会報』74号~76号   |
| 『NFCニューズレター』2015年2月-3月号         | 『日本興行ニュース』1015号   |
| 『キネマ旬報』2015年3月上旬号,3月下旬映画業界決算特別号 | 『日経エンタテインメント!』2015年3月号  |
| 『シナリオ』2015年4月号                  | 『民間放送』1967号~1988号   |
| 『シナリオ教室』2015年3月号                |   |
| 『SCREEN』2015年4月号、付録             |   |

≫≫ 新規登録資料案内 新しく登録した資料をご案内いたします

## ■ 書籍 ■

- |                                    |               |            |
|------------------------------------|---------------|------------|
| 『アカデミー賞記録事典』                       | 筈見有弘+渡辺祥子(監修) | キネマ旬報社     |
| 『13日本の人形劇(日本人形劇年鑑2012年版)』          |               | 日本ウニマ      |
| 『日生劇場の50年』                         |               | ニッセイ文化振興財団 |
| 『〈瀧の白糸〉上演史における泉鏡花「錦染瀧白糸」の位置』鈴木彩(著) |               | 私家版        |
| 『映画配給公開記録(略称:ヒューマックスリスト)』最上敏信(編)   |               | 私家版        |
| 『自選喜劇映画』                           | 最上敏信(編)       | 私家版        |
| 『大映リスト』                            | 最上敏信(編)       | 私家版        |
| 『日活映画リスト 戦後篇』                      | 最上敏信(編)       | 私家版        |
| 『映画・ドラマ・CMイチオシ男優スター名鑑』             | アクトチュール編集部(編) | キネマ旬報社     |
| 『日活100年史』                          | 出版文化社(編)      | 日活         |
| 『宗教改革時代のドイツ演劇 その史的発展の考察』           | 永野藤夫(著)       | 創文社        |
| 『イプセン 生涯と作品』                       | 原千代海(著)       | 玉川大学出版部    |

資料をご寄贈くださった方々(敬称略・順不同/2014年12月~2015年1月)

※許可を得た方のみ掲載しております

松竹株式会社、松竹ブロードキャスティング株式会社、国立劇場、世田谷文学館、熊田恵子、映画論叢、博多座、(株)マルヨンプロダクション「シナリオ」編集部、株式会社日本舞踊社、日本映画テレビ技術協会、愛知芸術文化センター、劇団民藝、文学座、おもだか会、日本映画テレビプロデューサー協会、関西・歌舞伎を愛する会、劇団四季、ロングランプランニング株式会社、演劇出版社、キネマ旬報社、シナリオ・センター、一般社団法人日本民間放送連盟、東京大学出版会、安孫子正、シアタークリエ、梅津貴昶、丸善出版株式会社、劇団銅鑼、公益社団法人日本俳優協会、一般社団法人義太夫協会、神奈川県演劇連盟、独立行政法人日本芸術文化振興会国立文楽劇場、株式会社カモミール社テアトロ編集部、伝統文化新聞、銀座 博品館劇場、公益社団法人日本照明家協会、(株)近代映画社、岩波ホール、日本演劇興行協会、フィルムセンター、日本芸術文化振興会、紀伊國屋ホール、日本劇作家協会、梅田芸術劇場、銀座百店会、無名塾、テアトル・エコー、前進座、無声映画鑑賞会、関西常磐津協会、日本ウニマ(国際人形劇連盟)、日本近代文学館、劇団俳優座、邦楽の友社、名古屋芸能文化会、文化庁、玉造小劇店、明治座、東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)、劇団青年座、人形劇団プーク、日本芸能実演家団体協議会 実演家著作隣接権センター、東京都江戸東京博物館、俳優座劇場、パルコ劇場、新歌舞伎座、黒澤明研究会会誌、公益社団法人日本演劇協会、公益財団法人大宅壮一文庫、川邊一外、博物館明治村、一般社団法人長唄協会、山口博哉、松岡亮

どうもありがとうございました

## 「義太夫正本検索・閲覧システム」を当館ホームページで公開しております

2014年10月21日より、松竹大谷図書館が所蔵する義太夫正本を検索・閲覧するシステムを当館のホームページで公開しております。この検索・閲覧システムは、松竹大谷図書館が所蔵している義太夫正本を検索し、一部をデジタル画像で閲覧できるようにしたものです。

当館のホームページにシステムの説明があり、そのページから、システムのトップ画面に行くことができます。

### 「松竹大谷図書館所蔵義太夫正本検索・閲覧システム」

<http://www.dh-jac.net/db1/books/Shochiku-0tani/>

(検索・閲覧システムのトップ画面)



(検索・閲覧システムの画像閲覧画面)

システムの開発及び公開は、松竹大谷図書館と京都の立命館大学アート・リサーチセンターとの間で結ばれた協定に基づき、アート・リサーチセンターが行っています。

義太夫正本とは、人形浄瑠璃の戯曲にあたる資料です。1作品まるごとの本文を収録しているところから「丸本」とも言われます。義太夫正本は、その内容の奥深さや宗教観、そこに描かれる人間の普遍的で魅力あふれる姿から、単に人形浄瑠璃の戯曲としてだけでなく、江戸時代の人々の恰好の読物として人気が高い出版物でした。

(左)「新うすゆき物語」(寛保元年[1741]初演) 献上本  
(右)「須磨都源平躑躅」(享保15年[1730]初演) 七行本



松竹大谷図書館では、江戸時代に出版された約550冊の義太夫正本を所蔵しており、閲覧時に身分証をお預かりしますが、どなたでも閲覧していただけます。この義太夫正本の所蔵を、Web上で検索できるようにしたものが、今回のシステムです。また、このうち123冊については、翻刻出版のための調査を目的として義太夫節正本刊行会により12年ほど前に撮影された画像をシステムに組み込み、検索結果から正本の画像を閲覧できるようにしています。

これまでは当館でしか閲覧できなかった正本が、ご自宅で、職場で気軽にお読みいただく事ができます。まだまだ画像数も少なく、入力項目もわずかですが、松竹大谷図書館の55年以上に渡る歴史の中で、Web上での検索・閲覧という新しい一歩を踏み出す事ができました。

また、3月2日に、立命館大学アート・リサーチセンターにて、日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点全体カンファレンスが行われ、当館スタッフの武藤祥子が「演劇上演記録のデータ・ベース化と活用、ならびに汎用利用システム構築に関する研究」と題して発表し、この「義太夫正本検索・閲覧システム」についても報告を行いました。この全体カンファレンスについては、次号で詳しくご報告いたします。



# 専門図書館資料修復セミナー

## 図書館の現場で実践する劣化・破損資料の補修 基礎実習

2015年2月4日 14:00-17:00

日本図書館協会会館 2F 研修室

講師：岡本 幸治（製本家）

出席者：飯塚 美砂

図書館の劣化・破損資料を修復する岡本先生のセミナーは図書館協議会主催で何度か開催されているが、今回は初めての“実習”。持参するものリストには「相談したい破損資料（あれば1冊）、のり筆、骨へら、水筆（タンク式水筆もしくは面相筆）、カッター、金属定規…」とあったので、即座に参加を申し込んだ。

実は、このところ大変気になっていた“破損資料”があったので是非先生に見ていただきたかったのである。それは、今襲名公演で話題になっている四代目中村鴈治郎の曾祖父、初代中村鴈治郎の追悼本『中村鴈治郎を偲ぶ』。昭和10年初代中村鴈治郎の没後に出版された。内容は亡くなるまでの経過や葬儀の様子、芸風や当たり役、またその写真などを多数収録した1冊で、表装も緑がかかったグレーの絹布を表紙に使った品の良い作りになっている。が、布であることで経年劣化が紙よりすすみ、背表紙が剥離してきている。

当日、会場となった部屋には机ごとに3～4人のグループ分けがされ、カッターボード、小型のアイロンや糊などが用意されている。まずは先生の「なぜ修理するのか、何を優先するのか、どのように修理するのか」という講義とともに修理に使う道具、材料などの説明を受ける。実際に使用する糊のつくりかたや紙の扱い方を教わり、まず、破れたページの補修と見返し紙、背表紙の修理方法の実習に入る。既に何度か先生の講義を受けて図書館で実践しているので、そこは手早くすすめておいて、『中村鴈治郎を偲ぶ』を手にも先生の巡回を待ち受けた。

今回は基礎編であるので、先生もそのような凝った本の修理は予定になかったはずだが、絹張りのバリバリになった背表紙を見て俄然、これは初心者には任せておけないと思ったのか、自らマイクロパチュラ（本来は医療器具）という“秘密兵器”を取り出し最新の注意をもってきれいに剥がしてくださった。

このあたりで、実習は予定時間終了。先生より、きれいに剥がされた『中村鴈治郎を偲ぶ』の背表紙の次の作業（色と厚さのあった和紙を調達し、背表紙として接着させ、剥がして分離させた背文字の活かせる部分を貼る）に関するアドバイスをいただいた。

現在、和紙とマイクロパチュラは探し回って何とか調達できそうなので、慎重に準備をした上で、いよいよ本格的に『中村鴈治郎を偲ぶ』の修理に取り掛かろうと思っている。



写真1：製本修理のための道具



写真2：ぼろぼろ状態の『中村鴈治郎を偲ぶ』背表紙

## ■ 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い ■

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。

当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

**公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。**

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### ● 現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）

2015（平成27）年2月にご支援いただきました

#### 法人・団体（50音順・敬称略）

株式会社歌舞伎座

歌舞伎座サービス株式会社

歌舞伎座舞台株式会社

松竹株式会社

松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター

松竹音楽出版株式会社

松竹芸能株式会社

株式会社松竹サービスネットワーク

松竹ブロードキャスティング株式会社

株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

どうもありがとうございます

### ■ 春期特別整理休館のお知らせ ■

平成27年2月28日（土）より  
平成27年3月15日（日）まで  
資料整理のため休館いたします。  
平成27年3月16日（月）より通常どおり開館  
いたします。

### ■ 閲覧室展示のお知らせ ■

▼閲覧室の資料展示は、春期特別整理休館明けの16日より、野村芳太郎監督作品の展示を予定しております。2015年は野村芳太郎監督の没後10年にあたります。松本清張原作のサスペンス作品で有名な監督ですが、喜劇やメロドラマなど、多くのジャンルの作品も撮っておりますので、その多彩さもお伝えできる展示にしたい、と考えております。次号で展示内容について掲載します。

### ■ 「街角で見つけた新派」発売中！ ■

新派の様々な舞台の現場を、文と写真で案内する新刊が、1月15日に発売されました。劇団新派文芸部所属で、新派の演出家として活躍されている成瀬芳一さんが文を書かれています。本年1月に三越劇場にて上演された『大つごもり』の白金台町など、名作の舞台となった東京の各所が取り上げられており、本を読みながら、当時の面影をしのぶことができる一冊です。当館の蔵書としてもご覧いただけますが、街歩きのお供としてお手元に一冊いかがでしょうか？

#### 「街角で見つけた新派」

文 … 成瀬芳一  
写 真 … 岡田明彦  
出版社 … 青蛙房  
定 価 … 1800円(+税)



#### ● 交通案内 ●

入館料 無料

閲覧 館内閲覧のみ

Webサイトに掲示します。

※その他 臨時休館のある場合は一ヶ月前から館内および

Webサイトに掲示します。

特別整理期間

2015年、年末年始、春期・夏期

最終木曜日、5月1日、1月

2日、年末年始、春期・夏期

休館日 土曜日、日曜日 祝祭日 毎月

開館時間 平日午前10時～午後5時

● 利用案内 ●